

報告事項 コ

平成25年度文部科学大臣表彰について

平成25年度文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成25年10月28日

鳥取県教育委員会教育長 横濱純一

平成25年度地方教育行政功労者表彰被表彰者について

教育総務課

1 表彰趣旨

地方教育行政において、その功労が特に顕著な教育委員会の委員に対して、その功に報いるとともに、地方教育行政の発展に資するため、文部科学大臣が表彰するもの。

2 被表彰者、表彰式

<被表彰者> 藤原 成雄 (71歳) 前江府町教育委員会教育長 吉田 助三郎 (71歳) 前北栄町教育委員会委員長	<表彰式> 日時 10月4日(金)12時20分から 場所 東京都千代田区「文部科学省講堂」
---	---

3 被表彰者の主な功績

藤原 成雄 (ふじはら しげお)	
略歴	江府町教育委員会委員 (平成15年10月から平成24年11月) 江府町教育委員会教育長 (平成16年10月から平成24年11月)
主 な 功 績	<p>○学校教育 二十一世紀の教育を展望し、広い視野に立った教育活動を実践するため、平成一五年七月、江府町学校教育施設整備検討会を設置し、教育施設統合及び教育環境のあり方についての検討を行うとともに、小学校統合について先頭に立って取り組み、保護者並びに地域の方々と住民説明会を重ね、学校統合に向けて確かな道筋をつけた。また、学校統合に向け江尾小学校耐震補強・大規模改修工事を行い、さらに統合後、江府小学校の体育館改築工事を行うなど教育環境整備にも努めた。平成二一年四月、四小学校を統合し、一保育園、一小学校、一中学校とし、保・小・中の連携強化を図った教育行政功績は誠に大なるものがある。</p> <p>パソコンを活用した情報教育の推進のため、機器の導入に積極的に取り組み、小・中学校に専門的指導力を広め、教職員、児童生徒が進んで情報機器を活用した学習ができる環境づくりを推進した。</p> <p>○社会教育 学校統合により増加するバス通学児童への手立てとして、放課後子ども教室事業を整備するとともに、休業中の子ども達の受け皿としての機能も併せ持つ子ども教室を開設した。また、地域ボランティアによる学校支援の仕組みを組織化し、地域連携による学校支援事業の推進に尽力した。</p> <p>○文化事業の振興 町内文化協会会員を中心として実施した「奥大山ひなまつりコレクション」の開催にあたり、団体育成のかたちで支援し、当取組が、地域住民と一体となって、地域の方の「ぬくもり」が伝わって来る催しとなった。年々催しが拡充し、地域住民の文化振興に寄与した。</p> <p>○教育行政 江府町教育委員会教育長として、町の教育行政全般の責任者として推進してきた八年間の実績は高く評価されている。また、平成二四年度には、鳥取県教育委員会連絡協議会の副会長及西部地区教育委員会連絡協議会の理事として、協議会の運営に貢献した。</p>
吉田 助三郎 (よしだ すけさぶろう)	
略歴	北栄町教育委員会委員長 (平成17年11月から平成24年11月)
主 な 功 績	<p>○学校教育 北条小学校校舎の改築、大栄中学校校舎及び大栄小学校体育館の耐震補強を行い、児童生徒・教職員が安心して学べる教育環境づくりを図った。また、平成一九年には、北栄町教育の方向性を示す「北栄町教育ビジョン」を制定し、以後の施策の拠り所とした。また、グローバル社会の到来をいち早く感じ、幼稚園や小学校の幼児・児童が外国語に触れ合う環境整備の必要性を説き、平成二二年には町独自で外国語教育指導員を配置し、幼稚園・小学校四年生以下に外国語活動を取り入れ、幼児期から外国語への興味・関心を引き出す取組を推進した。</p> <p>○社会教育 生涯学習の重要性を説き、公民館活動の充実や図書館整備など、子どもから高齢者までがいつでもどこでも学べる環境づくりの充実、拡大に力を注いだ。特に、地域の子どもたちは、家庭、地域、学校が一体となって育てることが大切であるという考えのもと、地域での体験活動や学校での地域人材の活用などを積極的に推進した。</p> <p>○文化事業の振興 文化・芸術の重要性を認識し、特に地元が輩出した陶芸家や画家の貴重な作品を定期的に企画展示するなど、町内外に発信し文化の薫り高いまちづくりを目指した。また、歴史のあるものを大切に次の時代に伝えていくという強い思いから、地元にも古くから伝わる「ゆらだんじり」の保護育成や「砂丘地開拓のあゆみ」の保存伝承、国指定の史跡「由良台場」の維持管理、保存に力を注いだ。</p> <p>○教育行政 北栄町教育委員会委員長として、七年間委員の意見を取りまとめてきた実績があり、町の教育行政全般に関して推進の責任者として高く評価された。また、平成二〇年度には、鳥取県教育委員会研究協議会の副会長として、協議会の運営に貢献し、その功績により感謝状を受賞した。</p>

平成25年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について

平成25年10月28日
スポーツ健康教育課

1 表彰の趣旨

地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及び団体を文部科学大臣が表彰する。

2 表彰式

- (1) 日時 平成25年10月11日（金）午後2時15分～
(2) 場所 中央合同庁舎第7号館3階講堂（東京都千代田区霞ヶ関3-2-2）

3 本県の受賞者（団体）及び功績等

(1) 生涯スポーツ功労者

氏名	中原 俊夫 （なかはら としお）
役職	一般財団法人鳥取陸上競技協会理事
主要経歴	・昭和48年4月～平成23年3月 小学校、中学校、高校の教員 ・平成8年4月～平成20年3月 鳥取陸上競技協会理事 ・平成20年4月～平成24年3月 鳥取陸上競技協会常任理事 ・平成24年4月～現在 （一財）鳥取陸上競技協会理事
功績	長年におわり、小学校、中学校、高校の教員として陸上競技の指導にあたり、高い指導力で全国レベルの大会で優勝や入賞する優秀な選手を数多く育成した。 校種を越えたジュニア期の一貫した指導体制の確立に積極的に取り組み、本県の競技力向上の中心的役割を果たしてきた。 各種大会において、県協会の役員や審判員として参画するとともに、協会組織の運営においても中心的な存在として活躍している。

氏名	山林 真由美 （やまばやし まゆみ）
役職	鳥取県馬術連盟 理事、事務局長
主要経歴	・昭和61年4月～現在 鳥取県馬術連盟事務局長 ・平成元年4月～現在 鳥取県馬術連盟理事
功績	自ら競技者として第一線で活躍しながら、長年におわり、本県競技の選手育成に携わっている。国体においては、自身も二度の優勝と数多くの入賞を果たしながら、指導者としても優勝選手をはじめ多くの入賞者を育成している。 一級審判員の資格を有し、各種大会にも参画するとともに、競技馬の調教にもその手腕を発揮しており、馬術競技の競技力向上に大いに貢献している。

氏名	木村 哲二 (きむら てつじ)
役職	鳥取県アーチェリー協会 副会長
主要経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年4月～平成21年3月 私立米子北高校アーチェリー部顧問 ・昭和62年4月～平成19年3月 鳥取県アーチェリー協会理事長 ・平成19年4月～現在 鳥取県アーチェリー協会副会長
功績	<p>長年にわたり、高校アーチェリー部顧問を務め、インターハイの優勝選手を輩出するなど、多くの優秀なジュニア選手を育成した。</p> <p>高校退職後に自ら建設したアーチェリー練習場は、高校生だけでなく、地域の協会会員の活動拠点となっている。また、洋弓教室も開催するなど、競技指導のみならず競技の普及にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>県アーチェリー協会の役員として、長年にわたって選手育成に携わり、オリンピック銅メダリストを輩出するなど、本県の競技力の向上に尽力した。</p>

氏名	鎌谷 眞里子 (かまたに まりこ)
役職	鳥取県レクリエーション協会事務局長 (知事部局所管団体)
功績	<p>平成16年9月に第58回全国レクリエーション大会IN鳥取が開催され、大会誘致にあたり、行政に対し、レクリエーションの有用性や意義を積極的に伝え、その実現に大きく寄与した。</p> <p>また、各種スポーツ団体と連携し、県レクリエーション大会の企画運営等に取り組み、レクリエーションの普及振興に尽力している。</p>

(2) 生涯スポーツ優良団体

団体名	大山町スポーツ少年団 (大山町)
代表	本部長 山根 浩
功績	<p>昭和50年に設立された大山町スポーツ少年団は、各種目には基本的に有資格指導者を配置し、安全な活動を目指しながら、日頃のスポーツ活動や各種大会への参加を通して、団員の技術の向上に努めている。</p> <p>バレーボール、剣道などの種目では、独自に町外の団体を招待して大会を実施しており、技術の向上に加えて、団員同士の交流を図っている。</p> <p>スポーツ少年団の理念に基づき、地域の奉仕活動などに指導者や保護者とともに参加することで、ボランティア精神を養い、青少年の健全育成に努めるとともに、様々な活動や交流を通して、団員相互の親睦を深める取組を行っており、他のスポーツ少年団の模範となっている。</p>

平成25年度スポーツ推進委員功労者表彰について

平成25年10月28日

スポーツ健康教育課

1 表彰の趣旨

スポーツ推進委員として地域スポーツの振興に功績顕著な者を文部科学大臣がスポーツ推進委員功労者として表彰し、その功に報いるとともに、今後における地域スポーツの一層の振興に資する。

2 被表彰者

田川 一 (たがわ はじめ) 鳥取市スポーツ推進委員

3 功績概要

田川 一 69歳	36年以上の長きにわたり、スポーツ推進委員(体育指導委員)として地域の中心となって活動し、地域のマラソン大会の運営に長年携わるとともに、ニュースポーツの普及にも尽力され、地域スポーツの発展に多大な功績を残した。県協議会の代議員及び理事をはじめ、合併前の村協議会会長や合併後の市協議会副会長としてリーダーシップを発揮するとともに、各種研修会にも積極的に参加して自己研鑽に努めており、他のスポーツ推進委員の模範となっている。
-------------	--

4 表彰式

- ・日 時 平成25年11月21日(木) 12:30～
- ・場 所 和歌山ビッグホエール(和歌山市手平二丁目1-1)
- ・第54回全国スポーツ推進委員研究協議会和歌山大会において表彰

平成25年度学校保健及び学校安全文部科学大臣表彰について

スポーツ健康教育課

1 表彰の趣旨

学校保健及び学校安全の普及と向上を図るため、これらに関し優秀な成果をあげた学校保健及び学校安全関係者を文部科学大臣が表彰する。

2 被表彰者

<学校保健関係>

- ・ やまなか しげる 山中 茂 (学校歯科医) 倉吉市立北谷小学校学校歯科医
- ・ やすぎ まさのり 安木 誠規 (学校薬剤師) 鳥取市立湖東中学校学校薬剤師

<学校安全関係>

- ・ とっとり しりつめいとくしょうがっこう 鳥取市立明德小学校 校長 田中 俊男

<学校安全ボランティア活動奨励賞関係>

- ・ おおしま こ あんぜん たい 大島子ども安全パトロール隊 東伯郡北栄町
- ・ とみす ちく ぼうはん たい 富益地区ボランティア防犯パトロール隊 米子市

3 功績概要

<p><small>やまなか しげる</small> 山中 茂 (学校歯科医) 61歳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和63年から北谷小学校、北谷保育所、どんぐり保育園の学校歯科医として、平成14年からは鳥取県立倉吉東高等学校の学校歯科医として、園児・児童・学生の歯科検診や口腔に関する歯科保健指導を長年行っている。 ・ 学校の歯科検診の際は、児童生徒個々に対し歯科疾患の発生、進行状況とその自己管理を指摘指導し、相談に応じるなど熱心に取り組み、歯科定期検診以外でも、ブラッシング指導や歯磨きの習慣づけ、食事と咀嚼、歯列と咬合等について歯科衛生士等のスタッフを帯同し講演指導をするなど学校保健に情熱を持って取り組んだ。 ・ 学校保健委員会では熱心に協議し、学校と家庭の連携による歯科保健の推進、歯磨きの習慣付け等について教職員、保護者の協力を求めるなど、地域と一体になった歯科保健意識の向上に努めた。 ・ 平成20年度には、学校歯科検診時のテキストを作成、わかりやすく全会員を対象に講習会を開催し、学校歯科検診が県下統一に、また学校検診が円滑にいくよう指導した。 ・ 保育所においてはフッ素洗口を提案し、小学校に入学する児童のむし歯率の低下につながっている。 ・ 平成21年より2年間、中部学校保健会理事を務めた。
<p><small>やすぎ まさのり</small> 安木 誠規 (学校薬剤師) 63歳</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和53年4月から旧国府町立成器小学校並びに同大芽小学校、同大成中学校、同国府中学校、鳥取市立津ノ井小学校、同醇風小学校、同湖東中学校、湖山小学校の学校薬剤師として、プール水質検査、学校校舎内環境検査(空気・照度・飲料水)などの学校薬剤師業務に献身的に従事するとともに、学校環境衛生の維持改善に努めた。特に給食施設検査業務の推進と発展に多大な貢献をした。 ・ 鳥取県学校薬剤師会理事、副会長、会長として、会員の資質向上に尽力するとともに当会事業遂行に積極的に活動し、学校保健の向上推進と発展に尽力した。
<p><small>とっとりしりつめいとくしょうがっこう</small> 鳥取市立明德小学校 (校長 田中 俊男)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成23年度より、鳥取型防災教育実践モデル校の取り組みを通して、防災教育全体計画を作成し、年間指導計画の整備に取り掛かるなど、学校における防災教育の取り組みを進めてきた。 ・ 鳥取大学と連携し、教職員の防災に関する知識の向上を図るとともに、学校における危機管理体制の整備や児童に対する教育内容・方法を推進し、その取り組みを広く他地域の学校への普及に役立てた。 ・ 防災に関する地域との連携も進めており、地域の自主防災会と連携をして、大規模地震を想定した明德地区・学校合同防災訓練を毎年実施するなど、学校、家庭、地域が連携した防災の取り組みを着実に進めてきている。 ・ 交通安全にも力を入れており、毎年交通安全教室を実施したり、自転車大会に参加したりしており、その結果、自動車の往来が激しい地域ながら大きな事故は起きていない状況にある。

<p>大島子ども安全 パトロール隊</p> <p>(東伯郡北栄町)</p> <p>代表 大西 博文</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年に結成。小中学生の登下校時を中心に、通学路や自治会内の道路でパトロールや見守り活動を実施。活動開始以降、自治会内で声かけ等の不審者事案は見受けられず、児童生徒の登下校時の安全確保に大変貢献している。 日々のあいさつ運動や子ども会との活動、小学生を対象とした「子ども学習塾」など地域に根ざした活動を行っている。
<p>富益地区ボランティア防犯パトロール隊</p> <p>(米子市富益地区)</p> <p>代表 内田 義信</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年12月の設立。会員の入れ替わりはあるものの、常時50人の規模で活動を続けている。 「参加しやすく、長続きする」ことを活動方針としており、活動は2ヶ月に1回の全体での合同パトロールと、それぞれの隊員の自主的な昼間、夜間のパトロール活動である。個人の買い物や散歩の際に防犯ベストを着用したり、使用する自家用車や単車に防犯ステッカーを取り付けたりするなど、外出がそのままパトロール活動になるため、人によってはほぼ毎日が活動日となる。このように個人の日常の生活をそのまま防犯パトロールに結び付けることによって、パトロールの現場が市民の目に触れる機会が増え、実質的に犯罪や不審者の防止につながっている。 パトロール活動以外の活動としては、小中学校と連携して通学路を点検し、危険箇所について自治会に依頼して、防犯灯の設置や通学路周辺の背の高い草の草刈作業などを定期的に行っている。

4 表彰式

- ・日 時 平成25年11月7日(木) 午後1時から
- ・会 場 秋田ビューホテル(秋田市中通2-6-1)
- ・第63回全国学校保健研究大会において表彰